MANUAL
HEROIC FANTASY OF CITADEL
時空の花嫁
TIME TRICK RPG
KOGADO
Software Products

CONTENTS

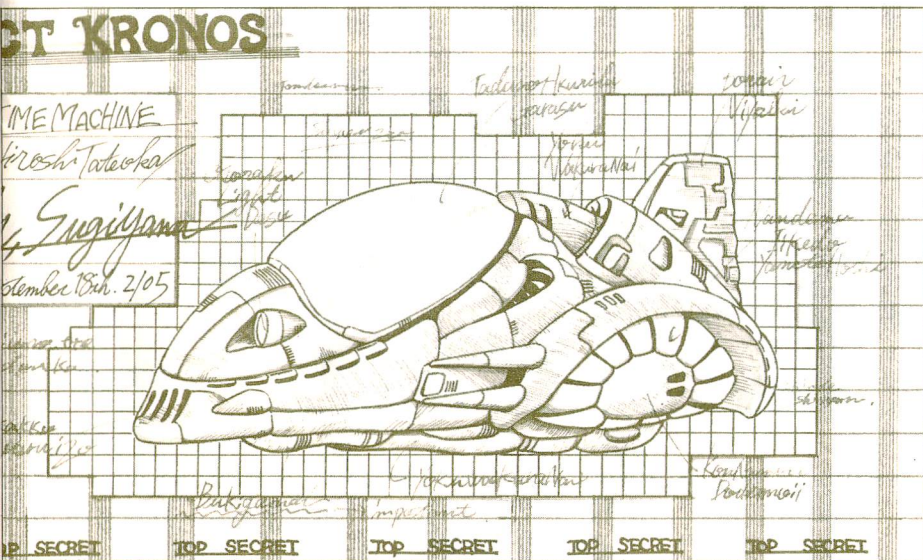
時は２２世紀。人類叡知の結晶であるタイムマシンの発明は、時間犯罪という異形児をもまた生み出した——。

時空間管理局は、２０９１年、プロジェクトクロノスと称される、いわゆるタイムマシン計画の実行と共に設置され、四次元世界という未踏域の調査、研究、管理を行っていたが、２０９８年、新たに時間犯罪防止課、通称タイムパトロールを設け、そうしたタイムトリップに関する犯罪を取り締まることとなったのである。タイムパトローラーは、科学歴史学、犯罪学、その他幅広い分野における知識が必要とされるのはもちろん、タイムトリップによるトラブル防止の為の細心の注意力、任務遂行に際しての実行力、判断力等が要求される、いわゆる時代のエリート達であった。

時空間管理局ＴＯＫＹＯ支局の本部ビルを出たケンは久々の都会の空気を味わっていた。彼は昨日までタイムパトローラーの研修生として数ヶ月に及ぶ特種訓練の為、南極にある時空間管理局本部へと赴いていたのだった。支局で認命証をうけとり正規隊員となったケンは、就任祝の食事をしようと、久々に会う恋人クミコの待つ近くの公園へとむかった。

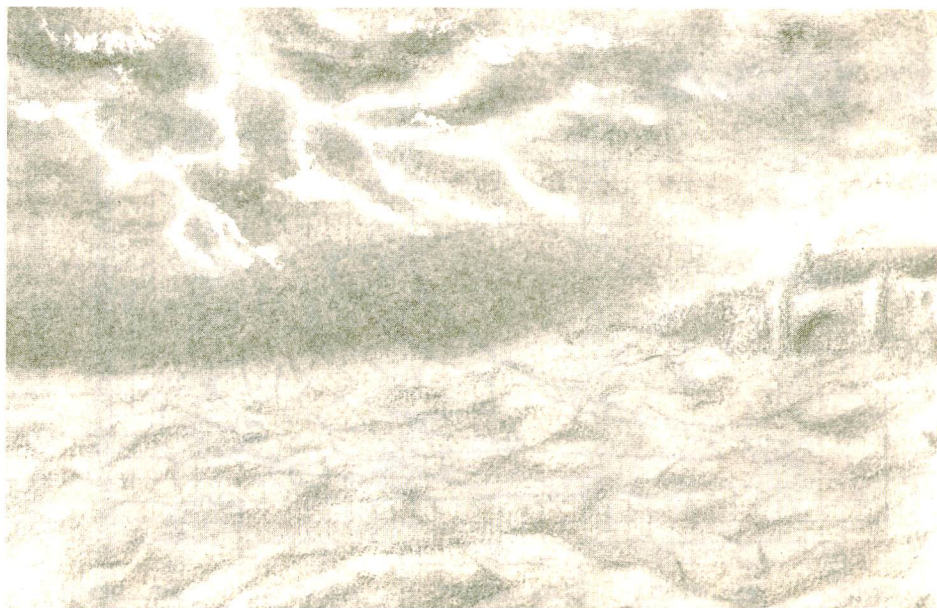
しかし、その日公園は何故か異様な空気が漂っていた。夜とはいえやけに人通りが少なく、不気味な静寂が立ち込める公園に入ると、クミコがひとり不安げに佇んでいた。その時である。一陣の風と共に突然異様な黒い影がクミコの前に現れ、クミコをつつみこむと、不気味な哄笑と共に闇の中へと消えていったのだ。

驚きと不安を抱きつつ、消えた影を追って本部ビル前まで来ていたケンは、その入口にあの影を見たような気がしてその後を追った。ビル内は騒然としていた。異様な男が現れ、局のタイムマシンでクミコらしい女性を連れ去ったというのである。混乱のビル内をケンが時航跡探査室へかけつけてみると、犯人の乗ったタイムマシンは１５０３年に漂着していることがわかったところであった。

事件は急を要した。ケンは自ら志願してクミコを救う任務につき、タイムマシンで１６世紀にむかって飛び立ったのである。任務遂行の為にタイムトラベルを許された期間は、１５０３年１月１日から７日までの１週間であった。

１６世紀、クミコが連れ去られた世界は、どことも知れぬ国のロデラーンと呼ばれる城砦都市だった。城壁に囲まれた街には、赤いくちばしを持つゴルグ族の武器屋、とかげのような容姿のバグツ族の鍵屋など、いままで見た事もない種族が言葉を交し、普通に生活していた。ケンはそれらの商人から、必要な物を買ったり、街の人々に用意してきたクミコの肖像画を見せ、情報を聞き込んだりして、クミコの行方を探らねばならなかった。

そして、調べていくうちに、この城砦都市ではセルゲイという貴族とハーベイという傭兵隊長とが二大勢力を持ち、お互いに反目し合っている事がわかった。あわよくば相手の隙を狙って失脚させようと、市街のあちこちで勢力争いの喧嘩が絶えないのである。

さらに不思議なことに、ロデラーンには城砦都市の中であるにもかかわらず、異様な魔獣が出没していた。物影から突然現れた魔獣は、ゴルグ族やバグツ族を見慣れたケンの目にも異様に写った。闇雲に襲いかかってきたその魔獣は、戦うことしか考えていない獰猛な化け物だった。

やっとの事でその怪物を倒したケンは、街の奥に住む民によって、この城砦都市にまつわる不思議な話を聞かされたのだが、それがクミコを助ける重要な鍵となったのだった。

クミコは何故謎の男にさらわれ、１６世紀のこのロデラーン市にまで連れてこられたのか？　その謎を解く鍵はこの街の歴史にあり、調べるにはさらに１２世紀へと溯る必要があることがわかった。

はたしてクミコはどこに連れ去られたのか？
あの魔獣はなぜ街中をうろつき回っているのか？
そして、謎の男は何者なのか…？
　それは、この物語の主人公である君が、明らかにしていくのだ…。

A. このゲームに入っているもの

1. PC-9801・2HD版……………………………………ディスク1枚
   PC-9801・2DD版……………………………………ディスク2枚組
   PC-8801版……………………………………………ディスク3枚組
2. 「時空の花嫁」マニュアル(本書)
3. ユーザー登録用ハガキ(マニュアルの巻末に付いています)
4. ユーザーディスク用ディスクラベル
5. サービスステッカー

B. ゲームを始める前に

このゲームをプレイするためには、ディスクドライブが2台必要です。また、ゲームを始める前に、まずあなた専用のユーザーディスクを1枚作りますので、お買いになったゲームのディスクと同じメディア(お買いいただいた「時空の花嫁」のディスクが「2D」なら、同じ「2D」のディスク)のブランクディスクをご自分で1枚用意してください。

C. ユーザーディスクの作り方

《PC-8801SR以降のシリーズのユーザーディスクの作り方》

使用するディスク
1. シナリオディスク
2. ブランクディスク(新しいディスク)
※オープニングディスク、ゲームディスクは使用しません。

まず、コンピュータの電源スイッチを入れます。
ドライブ1に、「時空の花嫁」のシナリオディスクを、ドライブ2にあなたが用意したブランクディスクを入れて、リセットボタンを押してください。自動的にプログラムがスタートします。その後は、画面の指示にしたがってユーザーディスクを作ってください。

《PC-9801・2HD版のユーザーディスクの作り方》

使用するディスク
1. ゲームディスク
2. ブランクディスク(新しいディスク)

まず、コンピュータの電源スイッチを入れます。
ドライブ1に、「時空の花嫁」のゲームディスクを、ドライブ2にあなたが用意したブランクディスクを入れて、COPYキーを押したままリセットボタンを押してください。自動的にプログラムがスタートします。
COPYキーは「ユーザーディスクを作ります」と、メッセージが表示されるまで押したままにしておきます。
その後は、画面の指示にしたがってユーザーディスクを作ってください。

《PC-9801・2DD版のユーザーディスクの作り方》

使用するディスク
1. シナリオディスク
2. ブランクディスク(新しいディスク)
※ゲームディスクは使用しません。

まず、コンピュータの電源スイッチを入れます。
ドライブ1に、「時空の花嫁」のシナリオディスクを、ドライブ2にあなたが用意したブランクディスクを入れて、リセットボタンを押してください。自動的にプログラムがスタートします。その後は、画面の指示にしたがってユーザーディスクを作ってください。

★できあがったユーザーディスクには、付属のディスクラベルを貼っておきましょう。

D.ゲームのスタート

《PC-8801版のゲームスタート方法》

オープニングを見る――――――――――――――――――――――――――
電源を入れ、オープニングディスクをドライブ1に入れて、リセットスイッチを押してください。自動的にオープニングがスタートします。

ゲームをする――――――――――――――――――――――――――――
初めてゲームを始めるときは感動的なオープニングの画面も、ゲームを進めていくうちに、毎回オープニング画面を見るのが苦痛になってきます。(そんなに何回もスタートを繰り返さなくてすめば言うことはないのですが・・・)そこでこの「時空の花嫁」の88版ではオープニング部分を「オープニングディスク」という形で別のディスクにきりはなして、ゲームを再スタートしたいときにはすぐにゲームを始められるようにしました。そしてもちろんオープニングの感動を味わいたいという方には、専用のオープニングディスクでたっぷりと味わっていただけます。

使用するディスクは、1.ゲームディスク
2.ユーザーディスク
の2枚です。(シナリオディスクは使用しません。)

コンピュータの電源を入れ、ゲームディスクをドライブ1に、ユーザーディスクをドライブ2にいれ、リセットボタンを押してください。タイトル画面が表示されます。何かキーを押すと、前回ゲームをセーブしたところから自動的にゲームがスタートします。(初めての時は、一番最初からスタートします。)

《PC-9801・2HD/2DD版のゲームスタート方法》

使用するディスクは、1.ゲームディスク
2.ユーザーディスク
の2枚です。(シナリオディスクは使用しません。)

コンピュータの電源を入れ、ゲームディスクをドライブ1に、ユーザーディスクをドライブ2に入れ、リセットボタンを押してください。PC-9801・2HD/2DD版では、まずオープニングが始まり、つづいてゲームがスタートします。
オープニングの途中で何かキーを押すと、前回ゲームをセーブしたところから自動的にゲームがスタートします。(初めての時は、一番最初からスタートします。)

2
画面モード説明と、ゲームの進め方

メインマップ移動モード、サブマップ移動モード、戦闘モード、イベントモード、キャンプモードがあります。

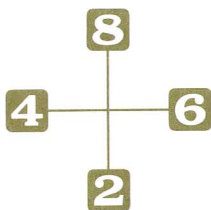
《メイン・サブマップ移動モード》

メインマップ移動モードは通常のゲーム進行中の画面です。(写真1)
メインマップ移動中に建物や洞窟に入るとサブマップのウインドウが開き、サブマップ移動モードになります。(写真2)

キーの操作方法

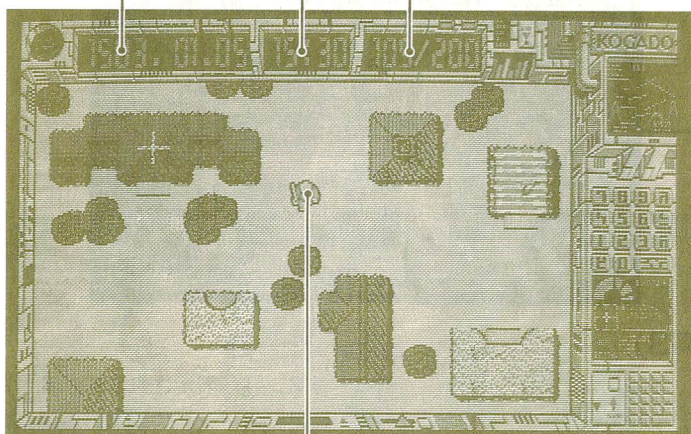
メイン・サブマップ移動モードの時に使えるコマンドは、テンキーで、

「8」:画面に対して、上に進む
「6」:　　〃　　右に進む
「2」:　　〃　　下に進む
「4」:　　〃　　左に進む
「0」:キャンプモードにはいる

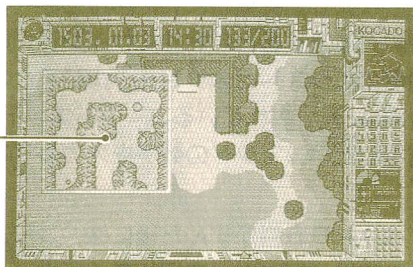
以上です。

（写真1）

①現在の西暦年．月．日の表示

②時刻表示

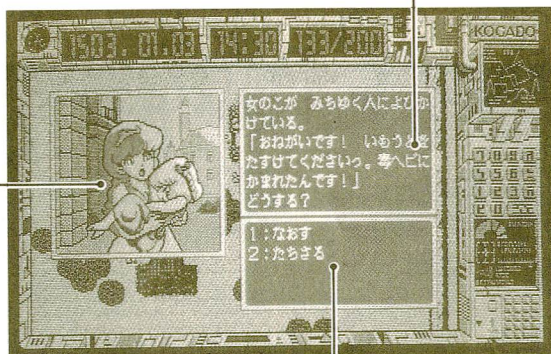
③体力：現在値/最大値
体力の最大値は不変です。現在値は「200」から始まり、「0」になると死んでしまいます。何らかの方法で体力を回復することができます。

④主人公「ケン」（タイムパトロール隊員）

（写真2）

⑤サブマップ

《イベントモード》

メイン・サブマップ上で誰かに出会ったり、建物等イベントの起こる場所に来ると自動的にウィンドウが開き、イベントモードになります。（写真3）

①イベントのイラストエリア
イベントが発生すると、主なイベントでは、イラストが表示されます。

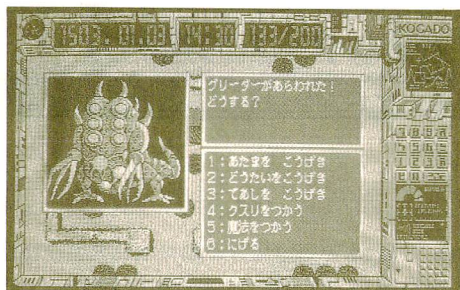
②メッセージエリア
いろいろなメッセージが表示されます。

（写真3）

③コマンドエリア
コマンドが表示されます。表示されているコマンドエリアのメニューの中から１つを選び、選択したいコマンドの数字を入力してください。

《戦闘モード》

魔獣と遭遇すると自動的にウインドが開き、戦闘モードになります。
魔獣のイラストとメッセージエリアとコマンドエリアが表示されます。
戦闘は、表示されているコマンドエリアのメニューの中から１つを選び、選択したいコマンドの数字を入力して行います。（写真4）

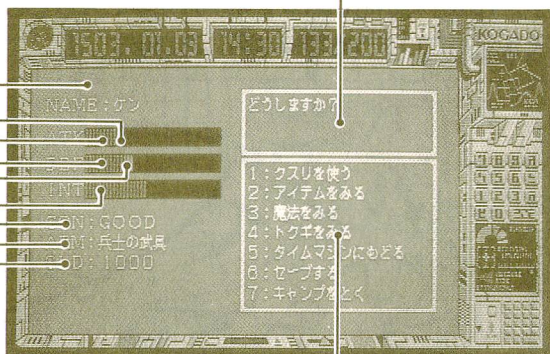
※イベントや戦闘がすんだ後には、コマンドが表示されなくなりますが、その時は、何かキーを押してください。もとのメインマップ移動モードに戻ります。

（写真4）

《キャンプモードとセーブ》

メイン・サブマップ移動モードのときに「0」キーを押すと、キャンプモードになります。
キャンプモードでは、自分の今の状態をいろいろと見ることができます。
またキャンプモードからメニューの「5：タイムマシンに戻る」を選択することで、いつでもタイムマシンの所に戻ることができます。（写真5）
セーブは、メインマップ移動時にかぎり、キャンプモード内でできます。

（写真5）

①自分の能力表示
現在の能力や所持金などの状態を表示します。

②メッセージエリア
いろいろなメッセージが表示されます。

③コマンドエリア
キャンプモードでできる内容が表示されます。

●HP（ヒットポイント・経験値について）
このゲームでは、ヒットポイントの最大値は一定で変化しませんが、ATK（攻撃力）とDEF（防御力）が戦闘を経験することによってアップします。

3 上手なゲームの進め方

1 まずは、じっくりとマニュアルを読んで、物語をしっかりと把握すること。何と言ってもまず第一の手がかりは、ゲームのストーリィにあります。

2 ロデラーンの城砦都市の中に入れたら、しっかり歩き回って城砦都市内の地形を把握しましょう。全てはこの城砦都市の中にあるのですから。

3 いろいろな人と話をして、情報を聞くことも大切です。

4 いろいろなアイテムが手に入ったり、能力が身に付いたらゲーム途中の適当なところでユーザーディスクにセーブしておきましょう。せっかくいろいろなアイテムが手に入っても、セーブしないまま死んでしまうと悲惨な目にあいます。

ユーザー登録(ヒント請求・ディスク補修)について

このマニュアルの最後に付いているユーザー登録カードに必要事項を記入のうえ当社までお送りください。ユーザー登録していただいたお客様には、本製品に不都合が発生した場合、サポート等承ります。

ヒント請求・ディスク補修は、ユーザー登録ハガキが当社に届いていませんとサポートできませんのでご了承ください。

ヒント請求は、封書で返信用60円切手を同封のうえお送りください。

使用機種・登録番号が記入されていない場合は、お答えできませんので忘れずに記入してください。

プログラムが正常にロード・動作しない場合は、とりあえず説明書の「1 ゲームの始め方・ユーザーディスクの作り方」をよく読んで、もう一度試してみてください。それでもだめな場合は、住所、氏名、登録ナンバー、どのような状態なのか、使用しているディスクドライブは何なのかを詳しく書いて、ディスクを当社までお送りください。新品と交換いたします。
ただし、お客様の操作ミスなどでディスクが壊れた場合は、交換実費として1枚に付き現金1500円を現金書留でお送りください。

〒162 東京都新宿区市谷台町11番地
株式会社　工画堂スタジオビル内
KOGADOソフト　ユーザーサポート係
TEL. 03-353-7724

5
注意とお願い

ディスクはとても壊れやすいものです。取り扱いは丁寧におこなってください。特に、磁性体(黒い部分)には絶対に手を触れないでください。また、ディスクの上に物を置いたり机の上に置きっぱなしにしないで商品の入っていた箱に入れて、しっかり保管しましょう。

入っているものはすべて大切なものです。だいじに保管してください。なお、紛失した物は再発行できませんのでご注意ください。

PROJECT KRONOS
SUBJECT
TIME MACHINE
CONSIGNED BY:
COUNTERSIGNED
M. Sugiyama
DATE:
SCALE 1 : 50

㈱工画堂スタジオ
〒162 東京都新宿区市谷台町11 TEL.03-353-7724
KOGADO
Software Products